

Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

今週のアップデート

揺れる世界、エネルギー独立と原発 (2014年5月8日)

GEPR編集部 · Wednesday, April 30th, 2014

アゴラ研究所の運営するエネルギーのバーチャルシンクタンクGEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) はサイトを更新しました。毎週月曜日更新ですが、編集の事情で今回水曜日としたことをお詫びします。

今週のアップデート

1) 台湾の原発、民意が揺らす — 政争の道具、日本の鏡

台湾のエネルギー・原子力政策が揺れている。建設中の台湾電力第四原発をめくって抗議活動が広がり、政府は建設の一時中止を表明。原子力をめぐる議論で反原発を標榜する一部の世論が政府を引きずり、日本と状況がよく似ている。台湾の人々の声を集めながら、民意と原子力の関係を考える。

2) フィンランドの新原発プロジェクトの破綻の危機

フィンランド在住のジャーナリストである靴家さちこさん、フィンランドの原発事情を紹介していただきました。靴家さんには、以前、オンカロでの最終処分場についてまとめていただきました。(記事「核のゴミ、市民はどのように処分方法を決めたのか—フィンランドの経験」)。原発は、問題が入り組んでいるために、推進でも、反対でも、問題に直面します。

3) 映像「日本はIPCCの温暖化警告にどう向き合うべきか」

国連のIPCC (気候変動) が第5次報告をまとめました。気候変動問題の研究者である杉山大志さん、竹内純子さんを招き、モデレーター、石川和男さんと議論をしました。内容は近く、記事化します。

今週のリンク

1) 台湾が第4原発の建設を凍結、住民が反原発の大規模デモ

ロイター通信4月28日報道。台湾で建設中の台湾電力第四原発のABWR (改良型沸騰水型原子炉) が、政治的な争点となり、馬英九総統は建設凍結を表明しました。デモの活発

化、野党が政治的な争点にするなど、日本と状況が似ています。この問題については現地事情を交えて報告します。

2) ヨーロッパにおける原子力情報 (フィンランド)

欧州の情報まとめサイト。(英語)今回靴家さんの紹介したハンヒキヴィ原発など、フィンランドの原子力事情をめぐる報道が一覧で示されています。

3) 川内原発再稼働 8月以降に 6月末にも審査合格

産経新聞4月20日記事。原子力規制委員会は九州電力の川内原発(鹿児島県)の優先審査を行っています。ところが、それが規制委員会の追加審査で混乱し、遅れているという報告です。

4) 原発作業員が漫画連載 「見たものを記録に残したい」

毎日新聞4月28日記事。漫画誌モーニングで連載中の「いちえふ 福島第一原子力発電所労働記」の作者のインタビュー記事です。福島で事故直後の作業はどうだったのか。作業員の人ガルポのマンガにしました。

5) 広瀬社長「東電が判断」 福島第2原発1~4号機の廃炉

福島民友4月26日記事。東京電力福島第二発電所の廃炉について、福島県からの要請に、広瀬社長が見解を表明しました。プラントは80年代の建設で稼働できれば東電の経営は立ち直ります。しかし、地元感情を考えれば再稼働は難しい状況です。

This entry was posted on Wednesday, April 30th, 2014 at 2:00 pm and is filed under [アップデート](#), [コラム](#)

You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Responses are currently closed, but you can [trackback](#) from your own site.